

## 光星学院 中国の外国語学校 留学生受け入れへ協定

協定書に調印した法官理事長(右)と王副学校長



**八戸**

八戸学院大学・同大短期大学部を運営する八戸市の学校法人光星学院(法官新一理事長)は19日、中国・西安市の「陝西現代日韓語職業培训学校」(吳穎楠学長)と教育に関する包括

連携協定を結んだ。来年度以降、留学生や教職員の派遣・受け入れを行い、相互交流を図る。

同校は2003年創立の外国語専門学校で、学生約3千人に日本語や韓国語など計8カ国語を教えている。

昨年、法官理事長が中国を視察した際、同校を訪問。同校側が光星学院の教育理念に賛同したことや、日本留学を希望する学生が多かったことなどから、法官理事長の帰国後、協定を持ち掛けたという。

協定では、留学生と教職員の派遣・受け入れや施設の相互利用など計4項目で協力する。八戸学院大学は来年度、中国人留学生3人を受け入れる。

同大で行われた調停式では、法官理事長と同校の王精誠副学校長が協定書に調印。法官理事長は「協定締結で日中間で学生と職員の見え方が増える。友好関係が築けることを楽しみにしている」、王副学校長は「光星学院と手を携え、美しい未来をつくり上げたい」とそれぞれ語った。

(大久保拓地)